

2008-09年度 国際ロータリーテーマ 「夢をかたちに」 R I 会長 李東建（韓国）
国際ロータリー 第2580地区 「おかげさまの心で夢をかたちに」
2008-09年度ガバナー 櫻井 権司



東京武蔵村山ロータリークラブテーマ 「行動しよう！」
第37代クラブ会長 藤野 豊

4月は雑誌月間です。

本日の例会

次年度会長方針発表

第1802回
例会
2009. 4. 22

次回例会案内【5月13日（水）】

全員クラブ協議会

第1801回例会報告（2009年4月15日） 司会 宮崎 恒夫 副SAA（会場運営委員）

点 鐘

（藤野 豊 会長）

齊 唱

我等の生業

会務報告

（藤野 豊 会長）

- ROTARY WORLD2009、4月・JAが届いています。（アンケートもあります）
- ロータリー世界平和フェローの件に関しての書状が届いています。
・地区1名の枠をはずし上限なしに。
- 青少年交換派遣学生募集要項が届いています。
- 第10回ロータリー日韓親善会議の案内
・2009年9月4日、5日
・韓国 ソウル
・登録料 22,000円
- 任意による拉致被害者家族連絡会支援のお願い
・寄付1口 100円
・バッチ1個 300円
受付、5月15日（金）までにクラブでまとめてガバナー事務所へ



会務報告続き…

- 第四回職業奉仕セミナー内容変更
5月18日（月）15:00～17:00
「佐藤千壽PGを偲んで
-永遠の課題・職業倫理」（仮題）
- バギオだより
2009年4月 第10号が届いています。
- バギオ基金
理事・顧問・評議員の任期満了について
（2009年6月30日）

幹事報告

（田中 伸彦 幹事）

- 例会変更
・臨海RC
5月20日（水）→夜間例会



出席報告

（網代 雅男 会場運営委員）

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
36名	28名	88.24%	なし

- 事前メイクアップ
峯岸 一郎 会員（青梅RC）
川島 利男 会員（地区協議会）
- 出席免除会員
石井 賢司 会員
渡辺 俊晴 会員



◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会長 藤野 豊 ◎ 幹事 田中 伸彦
○ 副会長 比留間 一康 ○ 副幹事 比留間 孝司
□ 会報雑誌委員長 後藤 正次 副委員長 見延 壽昭
委員 小野寺 一昭 原田 友義 比留間 孝司 北島 栄

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店2階
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
◇ 例会日 毎週水曜日 12:30～13:30
◇ クラブ事務局
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp

委員会報告

○比留間 重次 会員

武蔵村山市補助金審査委員会、ロータリークラブ代表で審査委員として出席。
20年7月～21年3月22日末で13回出席終了。勉強になりました。

卓 話

地区協議会報告

○次年度会長部門 比留間 一康 会員

Fテーブルでグループセッションを行った。

松本AG (グループリーダー)

- 1.次年度への目標について
 - ・クラブのテーマ 寛容の心で奉仕をしよう
 - ・クラブ奉仕に重点をおく 親睦と例会の充実。
- 2.RCと地域社会とのかかわりについて
 - ・村山デエダラまつりに参画。
 - ・活動内容の展示やチューリップ球根の配布。
 - ・少年野球東西対戦を継続する。

○次年度職業奉仕・環境保全部門

小野寺 一昭 会員

国際ロータリーテーマ

「ロータリーの未来はあなたの手の中に」

職業奉仕部門では、「ロータリー独特の職業奉仕への取り組みを強調する」は、ほかの奉仕団体や人道団体とロータリーの違いを明確に分けるものです。職業倫理への高い水準を保ち、日々実践することによって、私たちは同僚や従業員、顧客はもちろんのこと、競合相手に対しても模範を示すことができます。

理念なき集団は亡びる。今何故ロータリーなのか？明確な理念を持って社会的に貢献できる企業、人が支持される。

奉仕とはインドの子供達の例で、10才の子供が1日働いて得たわずかばかりのお金の中から、ごいをしてきた5才の子供にそのお金をめぐんであげる。このような行動です。
水、保健と飢餓救済、識字率向上の分野における奉仕活動に専念するように。

○次年度社会奉仕部門 栗原 高明 会員

- ・社会奉仕部門は 青少年育成、ローターアクト、インターアクトを担当
- ・環境保全部門は、次年度は職業奉仕部門へ。
- ・6グループに別れ、主にローターアクト、インターアクトについて話しあったが、提唱クラブが少ないため、提唱クラブの苦勞話を聞く。
ローターアクト 7クラブ 約100名
インターアクト 11クラブ 264名
- ・カウンセラーの前川パストガバナー講師
中学生の職場体験、高校生のインターシップ推進 (青少年育成)
次年度目標 (青少年育成の)
 - 1.意識の向上 (事務局も理解)
 - 2.受入れ企業の拡大
 - 3.中学生の職場体験の推進
 - 4.インターシップの実施希望受入れ体制
 - 5.オリンピック青少年総合センターの高校生職業体験

- 6テーブルにランダムに別れ、テーブル毎の報告を実施
- ・テーブル1
カンボジア青少年交換問題その他、全般にわたり意見交換
国際奉仕活動は、現地で行うのが基本であるが、時間と費用の関係で、国内でできることを行っている、という意見が印象的でした。
 - ・テーブル2
青少年交換について意見が多かった
受け入れのホストファミリーを見つけるのが厳しかった。学生の選定基準がどうなっているのか、食事の件について問題が多い。国によって食べない子がいる。1ファミリーの滞在中に皆で協力しあい、数日の短期の協力が助かった。全クラブでアンケート提出し今後の参考にしてはどうか、との意見あり。
 - ・テーブル3
バギオ基金
BOXは廻ってくるが詳細な報告がない
青少年交換
ホストファミリーをグループ制とし協力しながら運営した。その他の活動として、特定の国に救急車を寄付。
 - ・テーブル4
青少年受け入れの件で90%の時間を費やした。
学生の選考について工夫してほしい。来日する前に日本語を勉強してほしい。日本の風土、習慣等勉強してから来日してほしい。日本の食事を食べられないなら来日は控えてほしい。ファミリーを引き受けるなら退会する等の意見が出ました。
 - ・テーブル5
青少年交換 受け入れ学生の費用問題
クラブで年間一人当たり ¥5,000貯蓄 (会員60名)
ファミリーになる会員の減少、高齢化、子供がいないなど、来日学生の質が悪くなっている。選考方法の改善。教育の統一。日本を希望する学生を受け入れることが望ましい。持病のある学生は受け入れない。(学生が隠すと調査が困難)学校が希望する学校と異なると態度素行が悪くなる傾向。
 - ・テーブル6
青少年交換、地雷等いろいろ意見がでましたが…
青少年交換委員会、20年も前から同じ意見、同じ問題だよ。何を企画しても動く会員は同じだよ。との意見が一致。地雷除去では無く、地雷に依る負傷者に援助をしているクラブがありました。
以上6テーブルの主な意見交換内容です。
(報告者 次年度国際奉仕委員長 内野 均
代理 後藤 正次)

○次年度米山奨学部門 川島 利男 会員

委員会での話では、12名の人達で話し合いをしました。その中で一番大変なのが、奨学資金を集める事が一番の問題で役員が受けてがいないとの事が各クラブの代表の方の一番の話でした。



5年度国際奉仕部門 後藤 正次 会員
ニコニコBOX (倉内 淳 親睦委員)

●比留間重次会員⇒4月13日無事退院出来ました。

◆ 今回計3,000円 累計1,431,000円